

# 『人民の歴史学』総目録

第51号(1977年4月) — 第100号(1989年6月)

## 第51号(1977年4月)

### 《大会準備号 転換期における人民闘争と政治支配》

佐藤政憲 新しい研究者像の確立をめざして

アジア史部会報告者集団

中国労働者階級の形成と労働運動—報告の課題設定と分析視角について—

青木哲夫 鳩山内閣論の問題点—大会報告準備ノート—

落合延孝 幕藩制解体期の都市下層民の運動と存在形態

赤沢史朗 思想史部会について

婦人運動史部会・岩井サチコ

「婦人運動史の視点」の確立過程—七年の歩みをふりかえって

## 第52号(1977年7月)

関口裕子 歴史学における女性史研究の意義—日本古代史を中心に—

米田佐代子 無産婦人運動史研究についてのおぼえがき

科学運動部 学習指導要領の「君が代」国歌化問題

## 第53号(1977年10月)

青木哲夫 鳩山内閣の歴史的位罫

委員会 一九七六年度活動総括／一九七七年度活動方針

## 第54号(1978年3月)

アジア史部会報告者集団

中国労働者階級の状態と労働運動

佐藤政憲 新しい研究者像をめざして

## 第55号(1978年4月)

落合延孝 都市手工業の解体過程の研究—大工職人を中心として—  
委員会 第一二回大会を迎えるにあたって

### <大会報告レジュメ>

菊池敏夫 二〇年代中国鉄道業における労働運動  
菊池勇夫 東北大名・民衆と「蝦夷地」

## 第56号(1978年9月)

中島 敬 『民報』の戦争責任論ノート—一九四五年十二月期に限って—  
村田修三 城郭と中世史研究  
委員会 七八年度前期の東歴研活動／元号法制化に反対する声明

## 第57号(1979年1月)

米田佐代子 女性史の学び方  
東京学芸大学歴史科学研究会  
東京歴史科学研究会現代史部会編  
『日本現代史の出発』に対する東京学芸大学歴史科学研究会の報告について  
委員会 一九七七年度活動総括／一九七八年度活動方針

## 第58号(1979年1月)

### <特集 有事立法と元号問題>

古関彰一 「有事立法」の背景と目的  
宮地正人 元号問題のとらえ方  
今井 堯 元号法制化と「陵墓」の公開

## 第59号(1979年4月)

委員会 第一三回大会を迎えるにあたって  
菊池克美 教科書裁判史の一前提について  
前近代史女性史部会 前近代女性史研究会の成果と課題

### <大会報告レジュメ>

早川紀代 大正期における婦人解放思想の画期点をさぐる

落合延孝 シンポジウム「反動的歴史観とわれわれの歴史学」への期待

## 第60号(1979年8月)

峰岸純夫 網野善彦『無縁・公界・楽』によせて(一)  
君島和彦 現代学生の歴史意識—戦争観と教科書検定の問題をとおして—  
委員会 一九七八年度活動総括／一九七九年度活動方針

## 第61号(1979年11月)

### 《女性史特集》

早川紀代 大正期婦人解放思想の画期点をさぐる  
沢山美果子 大正期農村婦人の実情—中村政則『労働者と農民』から学ぶもの—  
堀 サチ子 女性史の方法を深めるために—中村政則『労働者と農民』から学ぶ—

## 第62号(1980年3月)

佐々木一郎 高成長、その破綻、転換の時代と勤労国民生活・意識の変容  
菊池克美 家永史学における前近代史研究概観—初期家永史学の形成によせて—  
委員会 機関誌名問題及び内容に関するアンケート結果について

## 第63号(1980年4月)

落合延孝 【書評】佐々木潤之介『世直し』

### 〈大会報告レジュメ〉

委員会 シンポジウム「高度成長と国民意識の変容」を催すにあたって  
法政大学歴史科学研究会 「現代青年(学生)論」と学生歴科研の課題をめぐって  
風間秀人 国民意識の変容と支配イデオロギーの対応  
塚田 孝 近世における身分・支配・賤民組織—弾佐衛門支配を素材として—

## 第64号(1980年6月)

塚田 孝 近世における身分・支配・賤民組織—弾佐衛門支配を素材として  
佐々木隆爾 戦犯記念碑建設の問題点  
大和和明 戦犯記念碑建設反対運動の現状  
委員会 戦犯記念碑建設に反対する声明／一九七九年度活動総括／一九八〇年度活動方針

## 第65号(1980年10月)

- 安在邦夫 「自由民権百周年」にあたって  
太田幸男 歴史学と歴史教育の方法をめぐって  
千野陽一 【書評】『近代日本婦人教育史』をめぐって

## 第66号(1981年1月)

- 委員会 一一月研究集会開催趣旨説明  
高埜利彦 前近代日本の宗教と国家—近世を中心にして—  
藤原 彰 右傾化の政治構造  
委員会 声明 民主主義の危機にあたって訴える

## 第67号(1981年4月)

### 《民主主義基盤の史的検討》

#### 〈大会報告レジュメ—自由民権百周年と歴史認識〉

- 安在邦夫 自由民権運動研究の視点  
渡辺 明 立憲改進黨の地方自治論  
小松 裕 民権運動退潮期のアジア認識

#### 〈大会報告レジュメ—安保闘争二〇年と歴史学〉

- 大和和明 韓国四月革命と日米安保条約—アメリカのアジア政策との関連で—  
菅野晴夫 前近代「イエ」研究の新たな視点  
松田 博 レジスタンス期から戦後改革期における民主主義の問題

## 第68号(1981年6月)

- 大和和明 韓国四月革命における自立経済の志向について—アメリカのアジア政策との関連で—  
横山伊徳 【書評】溝口敏磨『戊辰戦争—戦争と一揆—』を読んで  
委員会 教科書に対する攻撃に反対し、家永教科書訴訟の上告棄却を要求する決議  
委員会 一九八〇年度活動総括／一九八一年度活動方針／会費改定のお知らせ

## 第69号(1981年10月)

- 黒田俊雄 歴史学の再生と発展  
松田 博 レジスタンス政治過程における「進歩的民主主義」に関する一考察  
溝口敏磨 横山氏の批判を読んで

## 第70号(1982年1月)

- 涌井秀行 韓国の戦後経済史と「経済自立論」(第一五回東歴研大会大和報告によせて)  
林 彰 村落社会主義者小川高之助の思想と行動  
貝塚和実・勝田政治・赤澤史朗  
【書評】宮地正人『天皇制の政治史的研究』によせて(リプライ 宮地正人)

## 第71号(1982年4月)

- 黒田日出男 中世身分制についての覚書(一)  
芝田進午 核時代の歴史哲学についての考察  
梅田欽治 核時代における歴史認識(覚書)  
  
<大会報告レジュメ>  
委員会 核時代の国際関係  
早川紀代 戦後日本の国民の平和意識の形成について—地婦連を対象に—  
横山伊徳 「鎮将府」考  
堀 サチ子 戦時体制と女子労働—女子機械工をめぐって—

## 第72号(1982年6月)

- 横山伊徳 「鎮将府」考(上)—慶応と明治のはざまに—  
委員会 一九八一年度活動総括／一九八二年度活動方針

## 第73号(1982年10月)

### 《特集 核時代の歴史学》

- 佐々木隆爾 核軍拡を通じて戦後史を考える  
早川紀代 戦後日本の国民の平和意識の形成について—地婦連を対象に—  
堀 サチ子 戦時体制と女子労働—女子機械工をめぐって—  
委員会 日本歴史学協会委員選挙結果について

## 第74号(1982年12月)

- 義江彰夫 ヨーロッパ中世都市の構造と特性—神聖ローマ帝国版図を素材とする比較史的—試論—  
平田哲男 現代資本主義国家論の課題

## 第75号(1983年4月)

- 深谷克己 歴史的な懐疑と希望  
山本博文 日本近世国家の世界史的位罫—水林彪「近世の法と国制研究序説」によせて—

### 〈大会報告レジュメ〉

- 林 彰 反動デマゴグ渡部昇一思想とその役割  
近江吉明 ヨーロッパ中世の民衆運動論—フランスを中心に—  
近代史部会 自由民権運動における「都市民権派」の活動と歴史的位罫  
中嶋久人 東京における都市民権運動の形成—演説会活動を中心に—  
福井 淳 嚶鳴社にみる「都市民権派」の活動とその役割—官僚期の島田三郎を中心に—

## 第76号(1983年6月)

- 横山伊徳 「鎮将府」考(下)—慶応と明治のはざまに—  
山本博文 日本近世国家の世界史的位罫(二)—水林彪『近世の法と国制研究序説』によせて—  
委員会 一九八二年度活動総括／一九八三年度活動方針／総会決議

## 第77号(1983年9月)

### 《第一七回東歴研大会報告特集》

- 林 彰 反動デマゴグ渡部昇一思想とその役割  
中嶋久人 東京における都市民権運動の形成—演説会活動を中心に—(要旨)  
近江吉明 ヨーロッパ前近代の民衆運動論—フランス中世を中心に—

## 第78号(1984年1月)

- 千々和 到 起請文研究ノート(一) —誓約の作法—  
水林 彪 近世の法と国制研究序説補論(一)  
—山本博文「日本近世国家の世界史的 position」によせて—  
飯塚 靖 核時代の歴史学—江口、今堀、芝田各氏の問題提起をめぐって—  
委員会 学術会議法改悪強行に反対する決議

## 第79号(1984年4月)

- 水林 彪 近世の法と国制研究序説補論(二)  
—山本博文「日本近世国家の世界史的 position」によせて—  
小池喜孝 民衆史掘りおこし運動と歴史学研究  
  
<大会報告レジュメ>  
報告者集団 シンポジウム アジアの近代と日本—アジアの歴史教科書にみる—  
貝塚和実 近代社会成立期における村落共同体  
山田 朗 ファシズム型軍事力構築の諸前提—日本の軍事思想に及ぼした日露戦争の影響—

## 第80号(1984年6月)

- 中嶋久人 【書評】中村政則『日本近代と民衆—個別史の全体史』  
早川紀代 【書評】尾関周二『言語と人間』を読んで  
委員会 一九八三年度活動総括／一九八四年度活動方針  
『人民の歴史学』総目録(五一～八〇号)

## 第81号(1984年9月)

### 《シンポジウム アジアの近代と日本—アジアの歴史教科書にみる—》

- 太田幸男 問題提起  
飯塚 靖 東アジア(韓国・中国)  
馬場 章 東南アジア(インドネシア・フィリピン)  
千石浩之 インド・トルコ  
山田 朗 ファシズム型軍事力構築の諸前提(上)—陸海軍の軍事思想に及ぼした日露戦争の影響—

## 第82号(1984年12月)

- 中小路 純 水林彪『近世の法と国制研究序説』について—水林・山本論争の基本的性格—  
山田 朗 ファシズム型軍事力構築の諸前提(下)—陸海軍の軍事思想に及ぼした日露戦争の影響—  
小泉弓子 反核運動資料—全国の動き・神奈川の動き、一九八四年三月～九月—  
近江吉明 【書評】佐々木潤之介『近世民衆史の再構成』

## 第83号(1985年3月)

- 浜林正夫 史的唯物論の有効性  
新井勝紘 地域のなかで自由民権について考える  
河内信幸 【文献紹介】G・トーマスほか『アメリカが死んだ日』  
中嶋久人 東京の民権・フィールドワーク

### <大会報告レジュメ>

- 小泉弓子 アメリカにおける新保守主義の台頭と核軍拡の論理  
風間秀人 原水禁三〇年と反核市民運動(仮)  
米山宏史 ローマ帝政初期における反ローマ闘争  
嶋谷ゆり子 近世「本百姓」再考察の試み  
西木浩一 近世武州における「長吏」の信仰と生活

## 第84号(1985年6月)

- 山本博文 日本近世国家の世界史的位罫補論—水林彪・中小路純両氏への御答へ—  
委員会 一九八四年度活動総括／一九八五年度活動方針／規約改正

## 第85号(1985年9月)

- 小泉弓子 『コメンタリー』一九七五～一九八二—アメリカ合衆国における「反動イデオロギー」—  
三浦 進 現代の高校生と平和をつくる意識  
馬場 章 演劇文化と歴史学研究—わらび座公演「東北の鬼」を鑑賞して—  
大和和明 「臨教審」第一次答申にみる歴史意識



## 第86号(1985年12月)

- 米山宏史 ローマ帝政初期における反ローマ闘争  
—紀元六〇年・属州ブリタニアにおけるボウディッカの蜂起をめぐって—
- 嶋谷ゆり子 近世「本百姓」再考察の試み
- 西木浩一 近世武州における「長吏」の廻国順拝
- 委員会 日本学術会議第一三期会員の選出について

## 第87号(1986年3月)

- 横山伊徳 一八五〇年の「マルクスとアジア」—小谷汪之『マルクスとアジア』を読む—
- 太田幸男 「名著」を読み考えること—小谷汪之『歴史の方法について』をめぐって—
- 保立道久 【書評】小谷汪之『歴史の方法について』

### <大会報告レジュメ—委員会企画・現代における天皇制研究の課題>

- 深谷克己 天皇制の日常意識
- 梅田欽治 天皇制と日本資本主義—産業報国会の役割を中心に—

### <大会報告レジュメ—個別報告>

- 島田 誠 ローマ市民の家族形態とその変遷
- 相馬照子 フランスにおける乳母業の隆盛と民衆層—一八世紀パリの事例を中心に—

## 第88号(1986年6月)

- 弓削 達 歴史叙述と歴史小説
- 十菱駿武 地域の原始古代史研究と文化財保存の問題
- 小泉弓子 【読書ノート】弓削達『アグリッピーナ物語』
- 委員会 一九八五年度活動総括／一九八六年度活動方針  
ラウンジ(以下、毎号)

## 第89号(1986年9月)

- 家永三郎 『戦争責任』をめぐって
- 鹿野政直 日本文化論の現在
- 深谷克己 天皇制の日常意識
- 梅田欽治 天皇制研究の課題について考える—「産業報国」の天皇と「象徴天皇制」

## 第90号(1986年12月)

- 島田 誠 ローマ市民の「家族」形態とその変遷  
相馬照子 一八世紀フランスにおける乳母業の隆盛と民衆層—パリの事例を中心に—  
山田 朗 国家機密法案浮上の軍事的意味  
大隅清陽 【書評】河内洋輔『古代政治史における天皇制の論理』

## 第91号(1987年3月)

- 小谷汪之 近代社会の類型論的アプローチ(上)—大学における一つの授業実践—  
峰岸純夫 日本中世社会と「天皇制」  
東京都立大学現代史研究会 【書評】歴史科学協議会編『歴史科学入門』

### <大会報告レジュメ—委員会企画・高度成長と歴史学>

- 委員会 趣旨説明  
小杉修二 資本主義諸国の高度経済成長と社会主義論  
小林英夫 高度成長と歴史学

### <大会報告レジュメ—個別報告>

- 桜井英治 日本中世商業における習慣と秩序  
田中敏生 中世末のリヨンにおける都市民と托鉢修道会—遺言状の分析から—  
徳永高志 近代日本形成期の行政訴訟運動—自由民権期・民衆の諸要求—

## 第92号(1987年6月)

- 松永昌三 中江兆民の思想と現代  
小谷汪之 近代社会の類型論的アプローチ(下)—大学における一つの授業実践—  
婦人運動史部会  
戦時下の農村婦人  
宮崎由理 【読書ノート】松井やより『魂にふれるアジア』  
委員会 第二一回総会報告

## 第93号(1987年9月)

### 《第二一回大会委員会企画 高度成長と歴史学》

- 小杉修二 資本主義諸国の高度経済成長と社会主義論  
小林英夫 高度成長と歴史学  
討論記録  
森 健一 「国際化」と「文化交流戦略」—「国際日本文化研究センター」発足によせて  
堀サチ子 【読書ノート】『ベルリン・嵐の日々』を読んで  
中村尚美 東歴研創立二〇周年によせて

## 第94号(1987年12月)

### 《第二一回大会個別報告》

- 桜井英治 日本中世商業における習慣と秩序  
田中敏生 中世末のリヨンにおける都市民と托鉢修道会—遺言状の分析から—  
徳永高志 近代日本形成期の行政訴訟運動—自由民権期・民衆の諸要求—  
委員会 大学審議会の設置に抗議し、臨教審路線による大学再編に反対する声明

## 第95号(1988年3月)

- 遅塚忠躬 フランス革命史研究の課題  
十世紀研究会  
【書評】坂本賞三編『王朝国家国政史の研究』  
粟屋利江 【読書ノート】『ガンディーをめぐる青年群像』

### 〈第二二回大会報告レジュメ—個別報告〉

- 野村育世 中世前期「家」の構造  
岩井 淳 ピューリタン革命期の千年王国論と反カトリック主義  
渡辺尚志 入会地分割と村落共同体

### 〈第二二回大会報告レジュメ—委員会企画・象徴天皇制と現代〉

- 佐々木隆爾 象徴天皇制の起源と機能  
委員会企画WG  
現代天皇制のイデオロギー的基盤

## 第96号(1988年6月)

### 《特集 大学における歴史教育》

- 義江彰夫 文化・対外関係・比較そして全体史の再構築にむけて  
大日方純夫 大学における歴史教育—短大で一般教育を担当して—  
君島和彦 教員養成系大学での一般教育—朝鮮・中国への侵略問題をテーマとして—  
中村香子 大学教養課程に於ける歴史教育—東歴研—〇月例会に参加して—  
外園豊基 『教養の日本史』によせて  
委員会 第二二回大会総会報告

## 第97号(1988年9月)

### 《第二二回大会委員会企画 象徴天皇制と現代》

- 佐々木隆爾 象徴天皇制の起源と機能  
委員会企画WG 現代天皇制のイデオロギー的基盤  
討論記録  
佐藤 明 【新刊紹介】「紀元節」問題連絡会議編『象徴天皇制のゆくえ』  
小泉弓子 「江戸東京博物館」建設計画について  
委員会 日本歴史学協会役員選挙の結果について

## 第98号(1988年12月)

### 《第二二回大会個別報告》

- 野村育世 「中世の家族に関する言葉」二、三の覚書  
岩井 淳 ピューリタン革命期の反カトリック主義と千年王国論  
渡辺尚志 入会地分割と村落共同体—上総国長柄郡弓渡村を事例として—

## 第99号(1989年3月)

- 鬼頭清明 埋蔵文化財のマスコミ報道と歴史学  
増谷英樹 ヴェルトハイム問題とオーストリアにおける歴史の見直し  
吉田和彦 【読書ノート】石渡延男・益尾恵三編『外国の教科書の中の日本と日本人』

### 〈第二三回大会報告レジュメ—委員会企画・都市史研究の課題と方法〉

- 石塚裕道 近代都市史研究の課題と方法  
森 健一 「江戸東京博物館」構想の政策的背景について  
委員会WG 「江戸東京学」をめぐる

<第二三回大会報告レジュメ—個別報告>

- 斉藤善之 年貢勘定をめぐる村方騒動と百姓一揆の諸形態  
湯浅治久 戦国期の「徳政」と在地社会  
委員会 天皇の死去にさいし、歴史の偽像と天皇・天皇制の美化に反対し、主権在民の原則擁護を  
求める声明

第100号(1989年6月)

<論文>

- 近藤成一 封建制下の天皇  
松本良太 日本近世国家をめぐる議論をふりかえって—山本・水林論争の性格と問題点—  
落合延孝 人民闘争史覚書  
福井 淳 『人民の歴史学』にみる自由民権運動研究の展開  
奥田和美 近代女性史研究における「生活」の視点—戦時下生活論を中心に—  
中塚 明 核時代と歴史学—奈良県における非核平和の運動から考える—  
笠原十九司 大学における歴史教育

<ラウンジ:『人民の歴史学』一〇〇号記念投稿>

<東京歴史科学研究会第二三回総会報告>

<『人民の歴史学』一～九九号総目次>